

令和4年度 行政評価結果

【第2巻 戦略プロジェクト評価】

評価からはじめるまちづくり

令和4年 12月

盛岡市

目 次

I 戦略プロジェクトについて

- 1. 戦略プロジェクトとは何か 1
- 2. 令和4年度戦略プロジェクト 2

II 戦略プロジェクト評価について

- 1. 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか .. 3
- 2. どのような仕組みか 4
- 3. 評価結果を何に反映させるのか 4
- 戦略プロジェクト評価シート中の成果指標の評価基準 5
- 戦略プロジェクトロジックモデルシートの見方 6
- 重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト.. 7
- 重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト・ 12

I 戦略プロジェクトについて

1 戦略プロジェクトとは何か

平成27年度からスタートした総合計画の基本目標^{*1}を達成するため、各分野の29施策^{*2}において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、本市の課題等を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

取組期間は、おおむね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

*1 基本目標

総合計画の基本構想に掲げている「目指す将来像」の実現のため、まちづくりの理念や方向性を表したもの

*2 施策

目指す将来像の実現に向けて取り組む課題を明確にするために、4つの基本目標の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。

2 令和4年度戦略プロジェクト

重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による企業調達の国内回帰やサプライチェーンの分散化などの動きを把握しながら、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、盛岡の働く場を創出します。

また、テレワーク等ICT活用による新しい働き方の導入、AI、IoT等の新技術の活用による生産性の向上、盛岡産農畜産物の優位性を生かした付加価値向上など、地元企業や農林業などの効率性や生産性を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進します。

重点2 回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト

リベンジ消費の機運やGo Toキャンペーン等の好機を捉えた消費拡大策や誘客コンテンツの拡充・強化により、観光需要の段階的回復に向けた誘客を促進する「コロナからのV字回復」に取り組みます。また、感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、芸術や文化、スポーツ等を通じて人々が交流できる機会の創出や、関係人口・交流人口の創出・拡大により、観光客や市民等によるまちなかの社会経済活動の活性化を推進する「ポストコロナの交流・新展開」に取り組むとともに、盛岡バスセンターのにぎわい機能による周辺エリアの価値向上や、商店街の活性化支援等による「市民の日常に生まれるにぎわいの創出」に取り組みます。

Ⅱ 戦略プロジェクト評価について

1 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか

戦略プロジェクト評価は、各戦略プロジェクトが目的や目標に対し、どの程度達成されたか等の視点により評価するとともに、ロジックモデルシートを活用した戦略プロジェクトと構成事業の関係性や成果の顕在化についても評価しています。

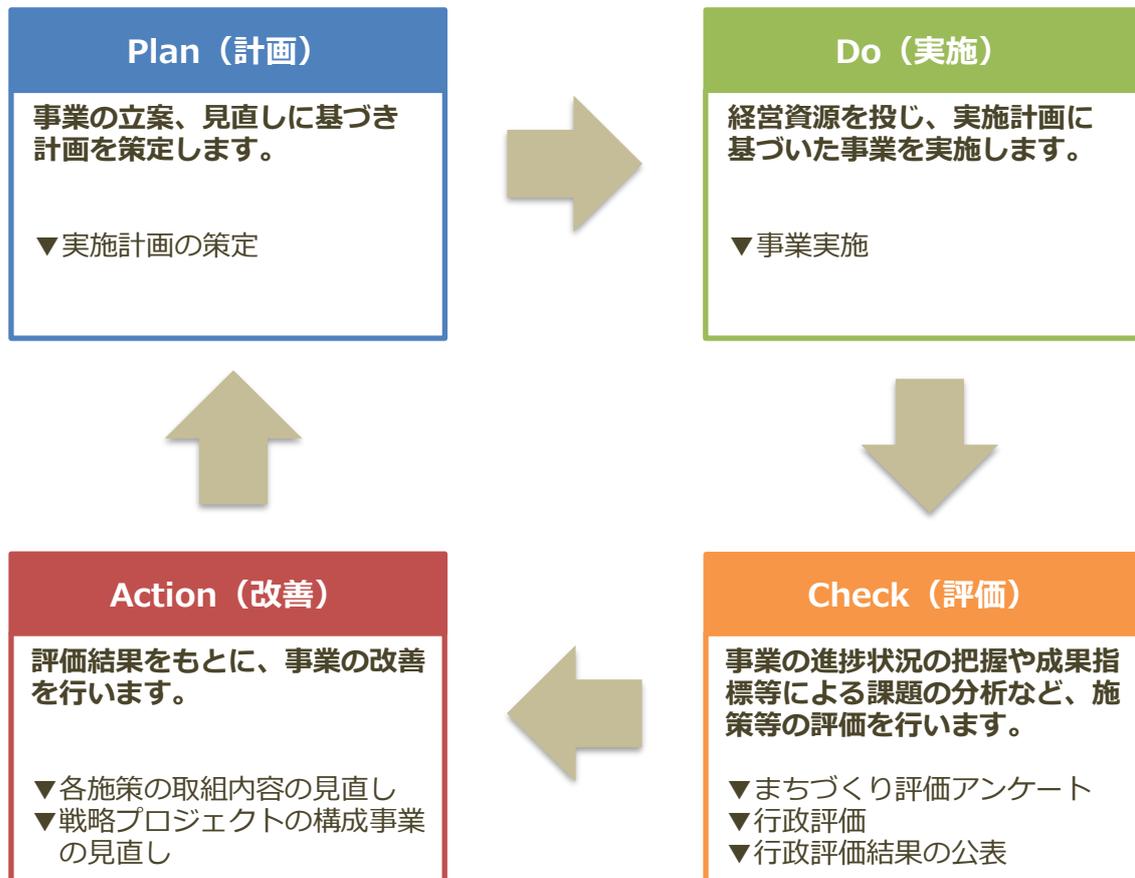
なお、評価シートでは、戦略プロジェクトの目標値に対する実績値の推移をグラフ化して表すとともに、実績の評価を踏まえた今後の展開についても示しています。

戦略プロジェクトは、設定した取組期間内において目標を達成することが求められていることから、前年度の実績を踏まえながら当該年度の評価時点における進捗状況評価（事中評価）を実施することで、戦略プロジェクトの着実な推進を図ります。

2 どのような仕組みか

計画（PLAN）→実施（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）の循環（マネジメントサイクル）を確立し、市の行政活動について絶えず振り返りを行うことにより、次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。

○総合計画の進行管理



3 評価結果を何に反映させるのか

戦略プロジェクト評価の評価結果は、今後の戦略プロジェクトの推進や構成事業の見直しに活用するとともに、戦略プロジェクトの期待する効果の実現に向けて特に高い効果が得られる事業に対し、重点的に予算を配分するなど、予算編成に活用することとしています。

戦略プロジェクト評価シート中の成果指標の評価基準

各施策・取組の評価基準は、原則として次のとおりとしています。

なお、下記評価基準のうち、成果指標の性格が「↓」のものは、“減少”を“増加”に読み替えます。

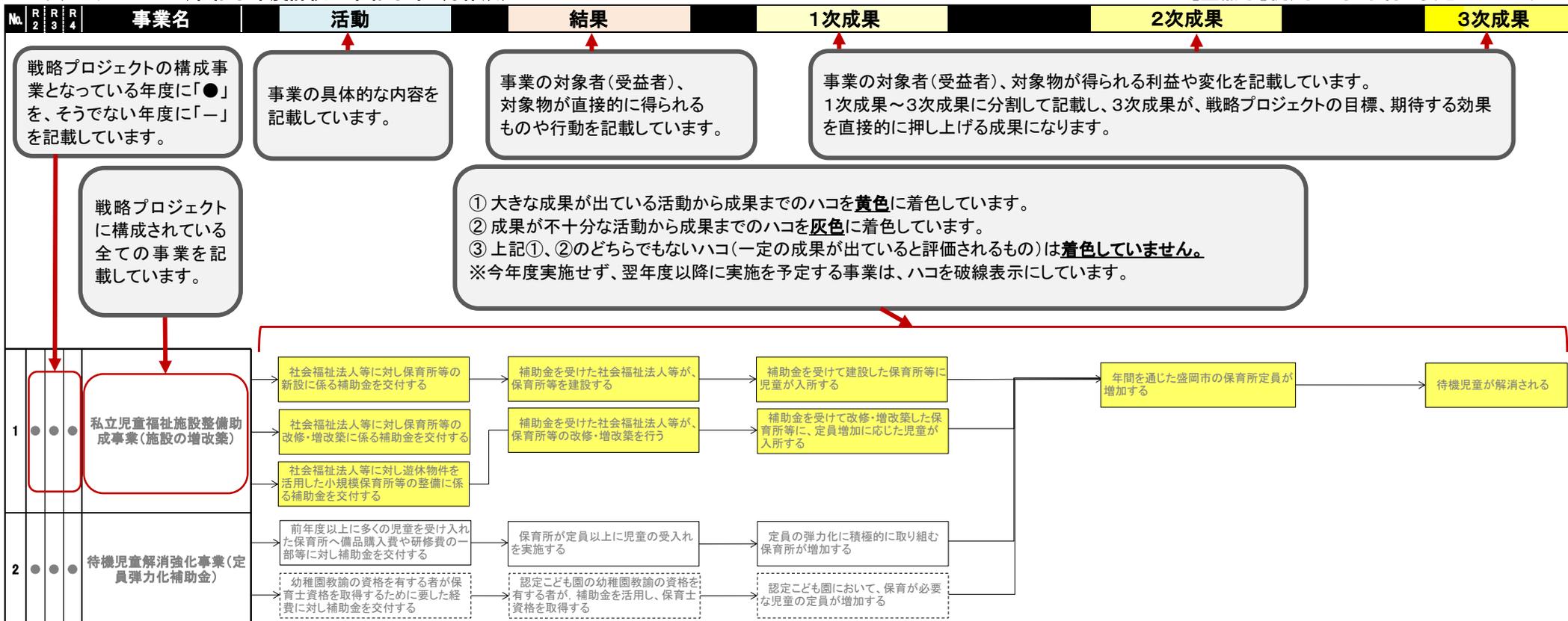
- (1) 令和4年度実績値が、最終年度の目標値を達成しているものについては、「目標値に到達（☆）」と評価します。
- (2) 令和元年度を基準として、最終年度目標値に対し、令和4年度の進捗率が2割を超えるものについては、「目標値に向け順調に推移（◎）」と評価します。
- (3) 令和元年度を基準として、最終年度目標値に対し、令和4年度の進捗率が2割以下の場合については、「目標値に向け推移（○）」と評価します。
- (4) 令和元年度の基準値と令和4年度の実績を比較して、減少又は停滞しているものについては、「遅れが生じている（△）」と評価します。

戦略プロジェクト ロジックモデルシートの見方

- ロジックモデルとは、ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したものです。
- 戦略プロジェクトにおけるロジックモデルシートは、各事業がどういった論理（ロジック）で戦略プロジェクトの期待する効果に至るのか、その過程を、数段階（活動、結果、一次成果、二次成果、三次成果）に分けて整理しています。つまり、活動から右へ順に、時間の経過とともになう成果の流れを表しています。
- ロジックモデルシートを作成するにあたっては、経験と事業実績に基づいて、「こうなることによってこうなる、その結果こうなる・・・」という論理の流れを考えます。このような論理的な根拠を持ったより良い仮説を立てることが、より有効性の高い事業をつくりだすことにつながると考えています。また、毎年このロジックモデルを検証し、見直すことによって、戦略プロジェクトの期待する効果の達成を目指します。

ロジックモデルシート(令和〇年度評価/令和〇年7月作成)

[重点〇]例)子ども・子育て安心プロジェクト



【戦略プロジェクト評価(令和4年度)】

戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト	戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
期待する効果	若者・女性の地元定着と活躍により持続可能で活力のあるまちになる	<p>人口減少社会の地域経済において若者の地元定着は大きな課題であるが、県内大学生の県内就職率は約4割と低く、特に理工系人材は約8割が県外に流出している現状がある。加えて、結婚・出産期の女性に転出超過の傾向が見られ、中・長期的には自然減による人口減少への影響も懸念される。これらの背景には東京圏との所得水準の差やIT関連を始めとする企業の受け皿不足のほか、第三次産業に偏った産業構造、地元企業の認知度の低さ等が挙げられる。</p> <p>その一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、ICTの進展を背景とする柔軟な働き方やビジネスモデルの変化、地方への人の流れや地元志向の高まり等、地方創生に向けて好機と捉えるべき変化も起きている。</p>	<p>○ DX時代のしごとづくり 国によるデジタル実装を通じた地方活性化の推進により、IT分野の需要が更に高まっていくことを見据え、若者をひきつける魅力的な働く場を創出するため、企業誘致やIT産業が集積する本市の強みを活かした異業種間のマッチングやクラスター形成支援に取り組む。また、AI、IoT等の新技術を活用した生産性向上や新たな事業展開による地元企業の雇用拡大を支援するほか、社会の変化を捉えた新たなビジネスの創出を支援する。</p> <p>○ 若者と地元産業をつなぐ 若者と地元産業をつなぎ、本市への定着を図るため、コロナ禍における地方・地元志向の高まりを好機と捉え、高校生や大学生等が学校の枠組みを超えて地域を知り、社会人と交流しながら地域課題の解決に取り組む場の提供や、若者が本市で働き、生活することの魅力効果を効果的に発信するとともに、ふるさとワーキングホリデーや就職ガイダンス等により地元企業の認知度の向上や就業希望者とのマッチングを支援するほか、就職後における新社会人マナー研修等のフォローアップ支援に取り組む。また、特に人手不足が深刻な保育士や介護職については、奨学金返還支援等により東京圏との待遇差による影響の解消に努める。</p> <p>○ 仕事と子育ての希望をかなえる 女性が安心して子どもを産み育て、社会進出しやすい環境づくりを推進するため、ICTを活用した働き方改革等、地元企業によるワーク・ライフ・バランスの取組を支援する。また、SNSを活用した効果的な子育て情報の発信や、子ども未来基金を活用した子育て支援、児童センター整備等による就学期の子ども居場所づくりに取り組むほか、男性の育児参画や働く女性の交流を支援する。</p>
重点取組期間	令和4～6年度		対象(誰(何)を対象として行うのか)
主管部名	商工労働部 ・ 子ども未来部	若者	盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける
戦略プロジェクト統括マネージャー	赤坂 國彦 商工労働部長 高橋 享孝 子ども未来部長	女性	両立が進み社会進出が活発になる

目標指標の状況・評価(令和4年7月時点)

実績値の推移				実績の評価		今後の展開(評価時点～令和4年度)
指標①	単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析	評価を踏まえた今後の取組	
<p>市内IT産業事業所数</p> <p>当初値(R1) 119 R6目標値 160 目指す方向 ↗</p>	社	-	<p>・令和3年度IT関連事業者1者の立地があった。</p> <p>・盛岡AI・IoTプラットフォーム事業において、サテライトオフィス誘致に取り組んでいる。</p> <p>・令和3年度は緊急経済対策として実施したサテライトオフィス環境整備事業(IT人材育成支援、企業誘致支援、設置支援事業費補助金)が効果的であった。</p>	<p>・サテライトオフィス設置支援事業費補助金は、誘致の際に企業から確認を求められる支援策であり、令和3年度に設けることができたことは効果的であった。</p>	<p>☆1 サテライトオフィス誘致の取組を継続するため補助金財源を確保する。</p> <p>☆2 スマートシティ関連事業等により、企業が盛岡に集積し、新しい取組が活発に展開されていることを周知する。</p> <p>☆3 IT企業と製造業等の異業種連携を促進し、新技術、新サービスを創出させ、IT関連産業の集積、産業の高度化・高付加価値化、若者の地元定着等を推進する。</p>	
<p>県内大学生県内就職内定率</p> <p>当初値(H29) 43.6 R6目標値 50.0 目指す方向 ↗</p>	%	◎	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の地元志向が高まっていること。</p> <p>・企業の新卒採用意欲が高いこと。</p> <p>・奨学金返還支援事業を実施していること。</p>	<p>・ジョブカフェいわて運営事業により、多くの学生にきめ細やかな就職支援を行っている。</p> <p>・オンライン企業研究会や就職ガイダンスの実施により、地元企業の情報発信を行っている。</p>	<p>☆1 地元企業の知名度向上のための情報発信を行う。</p> <p>☆2 地元企業の働く場としての魅力向上を図る。</p> <p>☆3 企業収益向上を目指す取り組みを行う。</p> <p>☆4 学生向けに奨学金返還支援事業の周知を更に進め、市内事業所の補助対象者を増加させる。</p>	
				「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析	
				<p>・サテライトオフィス設置支援事業費補助金は、緊急経済対策として実施したものであり、令和4年度に継続して設けることができていない。</p> <p>・IT関連企業の立地には、盛岡がビジネスを展開し易い場所であることが認知される必要がある。</p>	<p>・サテライトオフィス設置支援事業費補助金は、企業誘致に係る補助金であり地方創生推進交付金の活用ができないものであるため、財源確保が困難となっている。</p> <p>・IT産業振興に対する周知が十分に図られていない。</p>	
				<p>・昨年度と比較すると率は大きく向上しているが、目標値とは大きな隔りがある。</p> <p>・奨学金返還支援事業の認知度がまだ高くないため、市内事業所への誘引が限定的であること。</p>	<p>・県外の企業の採用意欲も高いこと。</p> <p>・地元企業の情報発信に取り組んでいるが、依然として知名度が高まっていない可能性があること。</p> <p>・奨学金返還支援事業の資格者養成校や大学への周知が十分でないこと。</p>	

指標③ 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
	%	△	<ul style="list-style-type: none"> 児童センターの未設置学区への整備について、見前小学校区の児童センターが令和4年6月から利用できるようになった。 子ども未来基金を活用した補助事業により、令和3年度は15の個人・団体が子ども・子育て支援の活動を行った。 保育士奨学金返還支援事業補助事業により165名に、保育士宿舍借上げ支援事業により30事業者（延べ48施設）153名に、若手保育士処遇改善支援事業により34事業者（延べ48施設）140名に補助を行った。 医療的ケアが必要な児童を保育施設で受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童センターが未設置の小学校区について、順次整備を進めている。 子ども未来基金を活用した子育て支援事業の実施団体が、令和2年度から5団体増加した。 若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大を図ったことで、保育士確保に繋がっていると考えられる。 医療的ケアが必要な児童を受け入れた保育施設に対し、必要となる経費の補助等の支援を行ったことにより、受入れ施設を確保した。
当初値(H29) 15.2	R6目標値 50.0	目指す方向 ↗		
			「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析
			<ul style="list-style-type: none"> 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合は令和3年度に減少している。 児童センターが未設置の小学校区がある。 子育て世代に対し、市の子育て支援策・支援活動に関する情報発信を効果的に行う必要がある。 希望する保育等の定員を維持するとともに、保育を担う保育士の確保を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ニーズに関するアンケート調査では、充実を望む支援策として「子連れでもでかけやすく楽しめる場所」を求める声が70.1%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消につながるものと考えられる。 児童センターが未設置の小学校区において、身近に遊べる施設がない(少ない)。 スマートフォンの活用等により、子育て世代が気軽に情報を取得できる環境が求められている。 関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えている。
指標④ 女性活躍推進法に基づく市内の認定企業数(えるぼし認定)	単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
	社	◎	<ul style="list-style-type: none"> 女性が能力を発揮しやすい職場環境を整え、国から認定を受ける市内事業所が徐々に増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性が能力を発揮しやすい職場環境が、優秀な人材の確保や企業イメージの向上など企業の成長に繋がると認識を持つ市内事業所が徐々に増えている。
当初値(H30) 6.0	R6目標値 20.0	目指す方向 ↗		
			「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析
			<ul style="list-style-type: none"> 市内の認定事業所がまだ少く増加の余地は大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性が能力を発揮しやすい環境整備が、優秀な人材の確保や企業イメージの向上など企業の成長に繋がると認識の浸透が進んでいない。

☆1 スマートフォン等で利用できる「もりおか子育てアプリ」やLINEによる情報発信を積極的に行うとともに、関係機関との連携を深め、妊娠・出産・育児期における切れ目のない支援策の充実に取り組む。

☆2 児童センターが未設置の小学校区への整備を進める。

☆3 児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を進める。

☆4 保育士の確保に向けて、雇用環境の改善に取り組む。

☆1 人材育成セミナーなどの啓発事業を実施し、企業の取組を支援する。

※進捗状況の評価(4段階) ☆:目標値に到達、◎:目標値に向け順調に推移、○:目標値に向け推移、△:遅れが生じている

事業No.	担当課等	事業名	R4予算(千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
1	農政課	スマート農業導入促進事業	6,300	4 農業用ドローンや遠隔操作等専対種の購入や農業用ドローンのオペレーター講習を受講する農業者に対し、補助金を交付する	2-3 農業者が、補助金を活用し、農業用ドローンや遠隔操作等専対種の購入を受講する	農作業の効率化と生産性の向上が図れる	市民が食と農の魅力を確認し、誇りをもってその魅力を発信する	
2	経済企画課	商業振興事務(中小企業者人材育成事業)	300	34-35 市内の中小企業の社員が中小企業大学校等の研修を受講する際の受講料の一部に対し、補助金を交付する	33 市内の中小企業の社員が、中小企業大学校等の研修を受講する	研修を受けた中小企業の経営の安定化が図られる 32 研修を受けた中小企業が、市場等のニーズに応じた新製品、新技術の開発やネットワーク形成を図る	中小企業大学校等の研修を受けた中小企業の所得が向上する	ものづくり産業における人材確保が進む
3	新産業拠点形成推進事務局	(仮称)盛岡南地区新産業等用地整備推進事業	10,000	民間事業者主体による物流拠点の整備を推進する	物流拠点が整備される	開発事業者により誘致された物流事業者が立地する	物流事業者による雇用が創出される 物流機能の充実により企業誘致が促進され、関連企業が立地する	
4	ものづくり推進課	盛岡AI-IoTプラットフォーム事業	16,900	190 セミナーや勉強会、実証実験等を行う DX人材育成講座や学生デジコン等の人材育成事業を実施する	デジタル技術に関する当市の取組が周知される 191 地元企業の社員及び学生から、IT高度人材が育成される	当市のIT関連の取組が全国に認知され、さらなる集積や共創が促進される 盛岡広域のIT産業振興の中核をなす人材が育成される	理工系人材が魅力を感じるスタートアップ拠点が形成される	
5	ものづくり推進課	スマートシティ関連事業	6,800	スマートシティ関連事業として、協議会を設置する	未来技術に関心のある事業者が協議会に参画する	未来技術に関心のある事業者が複数参画し、コミュニティが形成される	理工系人材が魅力を感じるスタートアップ拠点が形成される	
6	ものづくり推進課	成長分野拠点形成支援事業	8,300	38 クラスタ構成企業の国内外での新展開や新事業の創出を目的としたセミナーの開催を委託する 39 スペシャリスト・シェアリング体制の構築を委託する 41 クラスタ構成企業に対する各種コーディネート業務を委託する 43-44 海外展開を目指す地域経済牽引事業者の新事業に対し、補助金を交付する 46 盛岡ヘルスケア産業協議会に、国内展示会への出展支援に係る負担金を支出する	39-37 委託を受けた事業者が、クラスタ構成企業の国内外での新展開や新事業の創出に向けたセミナーを開催する 委託を受けた事業者が、スペシャリスト・シェアリング体制を構築する 委託を受けた事業者が、各種コーディネート業務を実施する 地域経済牽引事業者が、現地法人の設立に向けて、展示会出展、提携企業との交渉・コンサルトとの打合せ等を行う 45 盛岡ヘルスケア産業協議会として国内展示会に出展することにより、支援対象企業の取り組みを対外的に広くアピールする	クラスタ構成企業が、国内外での新展開や新事業を創出する クラスタ構成企業の経営の安定化が図られる クラスタ内外の企業の連携による新事業が創出される 40 クラスタ構成企業が増加する 42 地域経済牽引事業者が、海外での販路を開拓し、現地法人を設立する 支援対象企業の地産地消の展開により事業が拡大する	次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業が、市民に認知される 次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業が、ビッグデータ化される	次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業がヘルスケア産業として成立する
				49 岩手県内での就職関連イベントへのクラスタ構成企業の出展を委託する 53 盛岡市周辺の学生とクラスタ構成企業の代表者による交流会の開催を委託する 58 盛岡市周辺の学生を対象としたインターンシップの実施を委託する 63 県外の学生を対象としたインターンシップの実施を委託する	47-48 委託を受けた事業者が、岩手県内での就職関連イベントへのクラスタ構成企業の出展を行う 50-51-52 委託を受けた事業者が、学生とクラスタ構成企業の代表者による交流会を開催する 56-57 委託を受けた事業者が、盛岡市周辺の学生を対象としたインターンシップを実施する 61-62 委託を受けた事業者が、県外の学生を対象としたインターンシップを実施する	就職関連イベントに参加した学生が、クラスタ構成企業の採用試験を受ける クラスタ構成企業の代表者との交流会に参加した学生が、クラスタ構成企業の採用試験を受ける 55 インターンシップに参加した盛岡市周辺の学生が、クラスタ構成企業の採用試験を受ける 60 インターンシップに参加した県外の学生が、クラスタ構成企業の採用試験を受ける	就職関連イベントに参加した学生が、クラスタ構成企業に就職する クラスタ構成企業の代表者との交流会に参加した学生が、クラスタ構成企業に就職する 54 インターンシップに参加した盛岡市周辺の学生が、クラスタ構成企業に就職する 59 インターンシップに参加した県外の学生が、クラスタ構成企業に就職する	
7	ものづくり推進課	工場新設拡充等事業	59,843	67 市の区域内に工場・事業所等の新設・拡充を行う市内既存企業や誘致企業に対し、補助金を交付する 70 道明地区新産業等用地への誘致に向けた企業へのアンケート調査を委託する	66 補助金を受けた企業が、工場・事業所等の新設・拡充を行う 委託を受けた事業者が、企業へのアンケート調査を実施し、立地意向や市への要望を収集分析する	補助金を受けた中小企業の収益性が向上する 64-65 補助金を受けた中小企業が、新たな人材を雇用する	工場等新設拡充奨励事業補助金を受けた中小企業の所得が向上する	
8	ものづくり推進課	盛岡広域企業誘致推進事業	814	196 盛岡広域産業成長推進協議会に負担金を支出する	195 盛岡広域産業成長推進協議会が企業立地セミナーを実施する	194 企業立地セミナー参加者に対し、盛岡の企業立地環境の周知が図られる	193 企業が、市内に立地を行う	
9	ものづくり推進課	産業支援事業	1,199	75-76 大学等との共同研究を希望する中小企業等に補助金を交付する 78-79 中小企業や工業関係団体からの要望を受け、中小企業診断士等の各種専門家を派遣する	74 補助金を受けた中小企業が、大学等との共同研究を行う 77 中小企業診断士等の専門家が、中小企業や工業関係団体が抱える課題について、解決に向けた支援を行う	73 市場等のニーズに応じた新製品、新技術の開発やネットワークが形成される 支援を受けた中小企業の経営の安定化が図られる	中小企業診断士等の専門家からの支援を受けた中小企業の所得が向上する	
10	ものづくり推進課	産業支援センター管理運営事業	16,573	82 盛岡市産業支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、盛岡市産業支援センターの管理運営を行う	81 起業を目指す人が、産業支援センターに入居し、インキュベーションマネージャーによる指導・助言を受ける	80 産業支援センターの入居者が、市内で起業する	
11	ものづくり推進課	産学官連携研究センター管理運営事業	18,393	89 指定管理者に委託する	指定管理者が、産学官連携研究センターの管理運営を行う	87 企業と岩手大学との共同研究等により新技術が開発される 88 企業が研究成果の事業化に向けた支援を受ける	86 産学官連携研究センターの入居者が、市内に企業を立地する	
12	ものづくり推進課	新産業創出支援センター管理運営事業	7,932	91 新産業創出支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、新産業創出支援センターの管理運営を行う	新産業創出支援センターの入居者が、独創的な新技術や新製品を開発する	90 新産業創出支援センターの入居者が、市内に企業を立地する	
13	ものづくり推進課	起業家支援事業	160	85 地域人材育成ネットワーク事業実行委員会に負担金を支出する	84 地域人材育成ネットワーク事業実行委員会が、起業家を開催する	83 起業を目指す人が、起業家塾に参加し、事業上げのノウハウや成功のノウハウを学ぶ		
14	新産業拠点形成推進事務局	新産業等用地整備事業	329,085	72 道明地区新産業等用地整備について、業務委託等により実施する	道明地区に、ものづくり拠点としての新産業等用地が整備される	69 道明地区新産業等用地に、食料品製造業等のリーディング産業や医療分野を中心とした先端技術を有する企業が集積する	クラスタ構成企業の収益性が向上する クラスタ構成企業の所得が向上する	
15	経済企画課	雇用対策推進事業(盛岡市中小企業デジタル化促進モデル事業)	10,000	199 市内中小企業のデジタル化支援を委託により実施する	198 デジタル化支援を希望する市内中小企業の中から選定した企業に対し、デジタル化促進モデル事業として支援を行う	197 モデル企業のデジタル化が図られ、モデル事例が構築される	モデル事例の構築をはかることにより、市内中小企業のデジタル化が進む	市内中小企業の生産性向上が図られ、企業価値が向上する

【重点1】ロジックモデルシート／未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト 令和4年度評価用

事業No.	担当部署	事業名	R4予算(千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果	
16	保育サービス推進室	保育士確保対策事業(保育士奨学金返還支援補助)	10,591	97 対象の保育士について、奨学金返還費用の一部に対して補助金を交付する	96 保育士の生活上の経済的負担が軽減される	94 保育士として就職する人が増加する	他都市との待遇格差の解消が促進され、人材の流出が抑えられる	人材の定着化が図られ、市内の保育士が確保される	
17	保育サービス推進室	保育士確保対策事業(保育士借上げ支援事業補助)	81,684	98 対象の保育士の借上げ費用に対して補助金を交付する		95 保育士の離職率が低下する			
18	保育サービス推進室	保育士確保対策事業(若手保育士等処遇改善事業補助)	7,290	99 対象の保育士の処遇改善費用に対して補助金を交付する					
19	保育サービス推進室	保育士確保対策事業(保育体制強化事業)	18,000	203 保育支援者を配置する費用に対して補助金を交付する					
20	介護保険課	介護従事者確保事業(介護職員奨学金返還支援事業)	9,415	205 対象の介護職員について、奨学金返還費用の一部に対して補助金を交付する	補助金を受給した介護職員の生活上の経済的負担が軽減される	204 補助金を受給した介護職員の離職率が低下する	他都市との待遇格差の解消が促進され、人材の流出が抑えられる	人材の定着化が図られ、市内の介護職員が確保される	
21	介護保険課	介護従事者確保事業(介護の仕事の魅力発信事業)	152	207 市内介護施設の職員による、小・中学校、高校への出前講座を実施する	小中高生が介護について知る機会が提供される	206 介護職を身近に感じ、職業選択の幅が広がる	介護職の就職希望者が増加する	出前講座を行った施設等への就職により、市内の介護職員が増加する	
22	都市戦略課	移住・定住・交流人口対策事業(移住・定住の促進)	27,466	109 首都圏における盛岡コミュニティ育成支援業務を委託する 110 盛岡暮らし等に関する移住ツアー業務を委託する 111 移住・定住関連のイベントに負担金を支出する 112 移住・定住促進のため、移住コーディネーターを任用する	105 首都圏において盛岡コミュニティ育成支援が実施される 106 盛岡暮らし等に関する移住ツアーが実施される 107 移住・定住関連のイベントに出展する 108 移住コーディネーターが、移住・定住を考えている人の相談業務を行う	102 首都圏において盛岡コミュニティが拡大する 103 盛岡暮らし等に関する移住ツアーに参加者が来る 104 移住・定住関連のイベントに参加者が来る 移住・定住を考えている人が、実際の生活に向けた課題解決への支援を受けることができる	移住・定住先としての盛岡の魅力や具体的な課題が認識される 盛岡を愛する人が増える	101 移住・定住先として、盛岡に興味を持ち、移住・定住に向けた具体的な検討を行う人が増える 交流人口が増加し、市外の若者が市内企業を知る機会を得る	100 移住者が増加し、地元企業の認知度が向上する
23	経済企画課	若者の就業支援事業(企業向けインターンシップセミナー)	1,500	202 企業向けインターンシップセミナーを委託する	201 市内の企業がセミナーを受講する	セミナーを受講した企業が、自社の魅力を発信できるインターンシッププログラムを構築する	200 大学生等がインターンシップに参加する	インターンシップに参加した学生が、企業の魅力を知り、将来的に就職先を選択肢とする	
24	経済企画課	若者の就業支援事業(高校生等地元就職フォローアップ事業)	2,160	115 「モリオカシゴトカメラ」の制作・配布を委託する	114 高校生が「モリオカシゴトカメラ」を入手する	高校生が、地元で働く魅力を感じ、地元企業の採用試験を受ける	「モリオカシゴトカメラ」を見た高校生が、地元企業に就職する	113 高校生の県内就職内定率が向上する	(再掲)ものづくり産業における人材確保が進む
25	経済企画課	若者の就業支援事業(新社会人就職定着支援事業)	1,975	118 就職後3年目までの若手社員を中心としたコミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等の実施を委託する	116-117 委託を受けた事業者が、就職後3年目までの若手社員を中心に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を実施する	研修を受けた若手社員の離職率が減少する	研修を受けた若手社員がいる企業の経営の安定化が図られる	研修を受けた若手社員がいる企業の所得が向上する	
26	経済企画課	若者の就業支援事業(高校生インターンシップ事業)	42	119-120-121 高校生を対象とした地元企業へのインターンシップを実施する	インターンシップに参加した高校生の地元企業への認知度が向上する	インターンシップに参加した高校生が、経験した企業の採用試験を受ける	インターンシップに参加した高校生が、経験した企業に就職する		
27	経済企画課	若者の就業支援事業(高校生スキルアップ支援事業)	106	122-123-124 高校生を対象とした就職に向けたスキルアップ研修会を開催する	研修会を受講した高校生の実践的な職業意識が向上する	研修会を受講した高校生の就職に向けた準備が整う	スキルアップ研修会を受講した高校生が、地元企業に就職する		
28	経済企画課	若者の就業支援事業(ジョブカフェいわて運営事業)	5,004	127 「ジョブカフェいわて」にカウンセラーを配置し、若者を対象に就職等に関するカウンセリングを行う業務を委託する	126 委託を受けた事業者が、若者を対象とした就職等に関するカウンセリングを実施する	カウンセリングを受けた若者が自らの適性に合った職種の採用試験を受ける	125 カウンセリングを受けた若者が、自らの適性に合った企業に就職する	カウンセリングを受けた若者の離職率が低下する	
29	経済企画課	若者の就業支援事業(ふるさとワーキングホリデー事業)	6,592	209 ふるさとワーキングホリデー事業を委託する	委託した事業者が県外学生の参加を募る	208 県外の学生がふるさとワーキングホリデーに参加する	参加した学生が、市内での生活体験や就業体験を通じて、本市の魅力を知る		
30	農政課(食と農の連携推進室)	食と農のバリエーション推進事業(6次産業化等スタートアップ支援事業)	6,679	21 6次産業化セミナーの開催を委託する 22 6次産業化等を行うとするとする生産者に対し、補助金を交付する	19-20 委託を受けた事業者が、6次産業化セミナーを開催し、50名以上の生産者等が受講する 21 生産者が、補助金を活用し、商品・サービスの開発や改良、新たな販路の開拓等を行う	6次産業化をはじめとした、異業種連携の取り組みが活発になる	農業分野だけでなく地域資源の活用が促進され、地域経済の活性化が図られる	地域企業の雇用が増加する	
31	農政課(産業振興課)	新規就農支援事業	22,185	25 新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策経営開始資金を交付する 27 新規就農者に対し、親元就職給付金を交付する	24 新規就農者が、農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策経営開始資金を活用し農業をはじめとする 26 新規就農者が、親元就職給付金を活用し農業をはじめとする	新規就農者が、安定した営農を続ける			
32	農政課	盛岡りんご担い手バックアップ事業(りんご剪定作業担い手育成補助)	1,200	30-31 りんごの剪定作業の担い手確保に係る経費に対し、補助金を交付する	29 りんご農業者が、剪定作業の担い手を確保する	28 りんごの剪定作業の担い手の剪定作業受注件数が増加する			
33	林政課	林業労働対策事業(森のしごと見学会)	1,129	133 高校生から社会人を対象とした、林業、木材産業の関連事業の見学会の実施を委託する	131-132 委託を受けた事業者が、高校生、社会人を対象とした林業、木材産業関連事業の見学会を開催する	130 見学会参加者が、見学会で林業・木材産業関連事業に興味を持つ	129 見学会参加者が、仕事の内容を理解した上で、林業・木材産業関連の仕事に就く	128 林業における人材確保が進む	
34	ものづくり推進課	盛岡テクノミュージアム設置事業	425	136 事業者に対して、盛岡テクノミュージアムに登録するよう働きかける 138 盛岡テクノミュージアムに登録した事業者に対し、製品や企業紹介スペースを設置する経費への補助金を交付する	135 地元企業が、盛岡テクノミュージアムに登録する 137 補助金を受けた事業者が、製品や企業紹介スペースを設置する	134 学生等が、盛岡テクノミュージアムに登録した企業を見学し、仕事内容や企業への理解を深める	セミナーや工場見学に参加した学生等が、企業の理解を深めた上で、ものづくり産業関連の仕事に就く		
35	ものづくり推進課	工業振興事業(企業サポート専門員)	3,384	140-141 企業サポート専門員を配置する	139 企業サポート専門員が、企業訪問を実施し、事業者の意向や個別課題等の把握を行い、情報提供や助言・指導を行う	支援を受けた中小企業が、円滑な事業継承を行う 支援を受けた中小企業の経営の安定化が図られる	企業サポート専門員からの支援を受けた中小企業の所得が向上する		
36	経済企画課	雇用対策推進事業(オンライン企業研究会)	1,500	145 市内外の学生を対象としたオンライン就職相談会を開催する	144 参加企業が市内外の学生に情報発信する	143 面接会に参加した学生が採用試験を受ける	142 面接会に参加した学生が、面接した企業に就職する		
37	経済企画課	雇用対策推進事業(新卒・若者就業支援事業)	1,377	155 盛岡地域雇用開発協会に負担金を支出する	148-149 盛岡公共職業安定所、盛岡広域振興局、盛岡地域雇用開発協会等が連携し、もりおか高校生就職相談会を開催する 154 盛岡地域雇用開発協会が、企業ガイドブックを発行する 151-152 盛岡公共職業安定所、盛岡広域振興局、盛岡地域雇用開発協会等が連携し、もりおか就職ガイダンスを開催する	147 もりおか高校生就職相談会に参加した高校生が、面接した企業の採用試験を受ける 企業ガイドブックを見た高校生や若者が、企業ガイドブック掲載企業の採用試験を受ける もりおか就職ガイダンスの参加者が、面接した企業の採用試験を受ける	146 もりおか高校生就職相談会に参加した高校生が、面接した企業に就職する 153 高校生の県内就職内定率が向上する 150 大学生等の県内就職内定率が向上する		

事業No.	担当課等	事業名	R4予算(千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
38	子ども青少年課	児童館整備事業(仮称)向中野児童センター整備事業	222,760	158 向中野小学校区に児童センターを整備する	157 向中野小学校等に通う児童のうち、放課後の居場所が必要な児童が児童センターを利用する	向中野小学校区における放課後の児童の居場所が確保される	児童センター、児童館を利用する児童の親が、安心して仕事ができる	156 仕事と家庭の両立が進み「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増える
39	子ども青少年課	児童館整備事業(仮称)太田児童センター整備事業	13,552	160 太田小学校区に児童センターを整備する	159 太田小学校等に通う児童のうち、放課後の居場所が必要な児童が児童センターを利用する	太田小学校区における放課後の児童の居場所が確保される		
40	子ども青少年課	児童館管理運営事業(児童厚生員の適正配置)	25,257	162 指定管理者に対し、職員配置の適正化に必要な経費を支出する	161 指定管理者が、職員配置の適正化に向けて職員の雇用等を行う	児童センター、児童館を利用する児童の健全育成が図られる		
41	子ども青少年課	児童館管理運営事業(児童センター利用時間延長)	299	164 指定管理者に対し、児童センター利用時間延長に必要な経費を支出する	163 指定管理者が、体制を整備し、児童センター利用時間延長を行う	留守家庭児童の安全な居場所が確保される		
42	子ども青少年課	地域児童クラブ等運営事業(放課後児童クラブ家賃補助の拡充)	1,764	166 家賃負担をしている放課後児童クラブ運営団体に、家賃補助を拡充して支出する	165 家賃負担の軽減により、放課後児童クラブの安定した運営や事業内容の充実が図られる	留守家庭児童の放課後の安全な居場所の充実が図られる	放課後児童クラブを利用する児童の親が、安心して仕事ができる	
43	子ども青少年課	地域児童クラブ等運営事業(余剰教室を活用した放課後児童クラブ整備事業)	2,500	211 学校内に余剰教室を活用した放課後児童クラブを整備する	児童が安全に放課後児童クラブに通うことができる	210 留守家庭児童が安心して利用できる放課後の居場所が確保される		
44	子育てあんしん課	私立児童福祉施設運営費助成事業(医療的ケア児保育支援事業)	7,338	170 医療的ケアを行う看護師を配置しようとする保育園に対して財政支援を行う 171 保育士が喀痰吸引等の研修を受講する際の財政支援を行う	168 保育園に医療的ケアを行う看護師が配置される 169 保育士が喀痰吸引等の研修に参加する	医療的ケア児を受け入れ可能な保育園が増える	167 親の付き添いなく、医療的ケア児が保育園へ通えるようになる	
45	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター事業	9,727	173 妊産婦や子育て家庭の相談を窓口や電話等で実施する 174 支援が必要なハイリスク妊産婦に対し家庭訪問を行う	妊産婦等が子育てに関する情報提供を受けられる 妊産婦等が、必要な子育て支援事業を利用する	妊産婦等の心身の健康状態や新生児、幼児の養育環境が改善される	172 児童虐待が減少する	
46	子ども家庭総合センター	子ども家庭総合センター事業	19,251	177 子ども家庭総合センターを運営するとともに、児童虐待対応に係る関係機関との連携体制を構築する	176 児童家庭相談に対し適切な対応がとられる 175-1 児童虐待が未然に防止される 175-2 児童虐待が早期に発見され、早期に対応される			
47	子ども青少年課	子ども未来基金事業	15,069	個人・企業等に対して、寄附の呼びかけを行う 180 企画提案方式により、市民・団体等が行う子ども子育て支援の活動の費用を助成する	178 個人企業等が、子ども未来基金に対して寄附を行う 179 助成を受けた市民・団体が、子ども子育て支援の活動を行う	民間による子ども子育て支援の活動が活発になる	盛岡市全体で子ども子育てを支援する機運が高まる	
48	子ども青少年課	子ども子育て情報発信事業	770	213 スマートフォンやタブレットなどを利用できる無料の「りおか子育てアプリ」の運用を開始する	212 市から子育て世帯に対して、アプリを活用して子育て支援情報を発信する	子育て世帯が市で行っている子育て支援に関する情報入手しやすくなる	より多くの子育て世帯に子育て支援事業が利用され、子育てに関する負担感が軽減される	
49	母子健康課	母子保健事業(産後ケア事業)	1,501	182 産後うつなど、支援が必要な産婦への心身のケアや育児のサポートを行う業務を、助産師・医療機関に委託する	181 産後うつなど、支援が必要な産婦が、心身のケアや育児のサポートを受けられる	産後うつなどの症状が改善されるなど、産婦が安心して健やかに産後の生活が送れるようになる	産婦の心身の健康状態や新生児、幼児の養育環境が改善される	
50	母子健康課	不妊に悩む方への特定治療支援事業(不妊専門相談センターの設置)	1,782	不妊専門相談センターを設置する	夫婦の状況に応じた不妊・不育に関する専門的な相談ができ、支援を受けられる	妊婦・出産を望む人が安心して治療に取り組み始める	生まれる子どもの数が増える 身近で専門的な相談ができる環境を整えることで仕事と家庭の両立につながる	
51	男女共同参画推進室	男女共同参画推進事務(りおか女性センター管理運営)	63,126	218 男女共同参画推進事務、女性の就業・就労支援や相談事業等を、りおか女性センターを拠点に委託して実施する	217 関心のある女性や困難を抱えた女性が受講、相談する	216 受講・相談した女性が自信を付け、就労・起業や社会参加への意欲が高まる	215 就労や起業、社会参加する女性が増える	214 社会への女性の参画や経済的自立が促進される
52	男女共同参画推進室	男女共同参画意識啓発事業	389	223 働く女性や企業・経営者に向けた人材育成セミナー、男性の育児・家庭参画を促進する啓発事業等を実施する	222 関心のある女性・男性や経営者が受講する	221 受講した人や経営者の男女共同参画推進意識が高まる	220 互いを尊重し個性や能力を発揮できる職場環境の整備が進む	219 ワークライフバランスが促進され、男性も女性も働きやすい社会になる
53	学校教育課	特別支援教育事業(医療的ケア学校看護師の配置)	4,886	184-185 学校へ医療的ケアを行う看護師を配置する	学校が医療的ケアを受け入れられるようになる	183 親の付き添いなく、医療的ケア児が通学できるようになる		
54	経済企画課	魅力ある職場づくり推進事業	1,096	186 中小企業を対象としたICT技術の活用を含めた働き方改革に関する研修会の開催を委託する	187-188 委託を受けた事業者が、中小企業を対象に、ICT技術の活用を含めた働き方改革に関する研修会を開催する	186 研修会に参加した中小企業が、ICT技術を活用した働き方改革を実施する	研修会に参加した中小企業のWLBが実現され、働きやすい職場になる 研修会に参加した中小企業の労働生産性が向上する	

プロジェクト投入額 1,101,822

【戦略プロジェクト評価(令和4年度)】

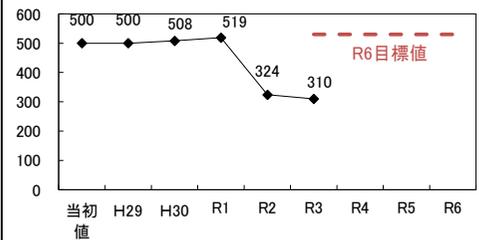
戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト
期待する効果	多くの人が行き交いコロナ前よりもにぎわいと活気にあふれるまちになる
重点取組期間	令和4～6年度
主管部名	交流推進部
戦略プロジェクト統括マネージャー	太田 真 交流推進部長

戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
<p>新型コロナウイルス感染症の流行に伴う行動制限や需要減少は、まちなかへの来訪者を激減させ、飲食・宿泊業が集積する中心市街地に大きな打撃を与えた。本市や岩手県の社会経済活動を牽引し、地域の消費や交流の中核を担ってきた中心市街地の活性化は、持続的な発展を目指す本市にとって重要な課題であり、コロナ前のにぎわいを早急に取り戻すことはもとより、新しい生活様式を踏まえながら、コロナ前を超える多くの人々をまちに惹きつけ、消費を喚起し、コロナ前を超えるにぎわいを生み出していくことが求められる。</p>	<p>○ コロナからのV字回復 観光需要の段階的回復に向けた誘客を促進するため、コロナ収束後に見込まれるいわゆるリベンジ消費の機運やGo To キャンペーン等の好機を捉えた消費拡大策に取り組むほか、東北六市や盛岡広域と連携したプロモーションやMICE(マイン)の誘致等を推進する。また、通年で盛岡さんさ踊りを観覧・体験できる機会の創出や、市の内外から多くの人々が集まり、地域経済への波及効果も期待される高規格スポーツ施設の整備等、誘客コンテンツの拡充・強化に取り組む。</p> <p>○ ポストコロナの交流・新展開 観光客や市民等によるまちなかの社会経済活動を活性化させるため、感染拡大防止と社会経済活動を両立させながら、芸術や文化、スポーツ等を通じて人々が交流できる機会を創出する。また、デジタル技術等を活用し、オンラインを併用した新たな形のイベント開催に取り組むほか、SNSやオンラインを活用した交流や、本市との関わりをもつ市外の人材がボランティアとして地域課題の解決に参画する「プロボノ活動」を支援するなど関係人口や交流人口の創出・拡大に取り組む。</p> <p>○ 市民の日常に生まれるにぎわいの創出 まちなかに日常のにぎわいと活力を生み出すため、地域の魅力をつなぐ結節点「ローカルハブ」をコンセプトとした盛岡バスセンターのにぎわい機能による周辺エリアの価値向上や、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上に取り組む。また、バスセンターと近接する地区の再開発による交流拠点の整備を促進するほか、公園・歩道等の公共空間を活用した居心地の良い空間の整備に取り組む。</p>
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
国内外の人	盛岡に来てもらう(交流人口が増える)。
市民	盛岡に愛着を持ってもらう。

目標指標の状況・評価(令和4年7月時点)

実績値の推移				実績の評価		今後の展開(評価時点～令和6年度)
指標①	観光客入込数	単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析	評価を踏まえた今後の取組
当初値(H28)	500	万人回	△	<p>・チャグチャグ馬コ及び盛岡さんさ踊りなどの伝統行事やまつりイベントを3年ぶりに開催したことにより、多くの観覧者が本市を訪れ、街なかの賑わい創出や、盛岡の魅力発信と再訪につながる取組となった。コロナ禍における観光需要の段階的回復に向けた初期の実績として成果を挙げた。</p> <p>・東京圏在住で盛岡で生活したことがあるものなどの関係人口を対象とした「盛岡という星で」プロジェクトにおいて、盛岡を身近に感じられるよう情報発信を行い、インスタグラムを中心に15,000人以上のフォロワーを獲得した。</p>	<p>・伝統行事やまつりイベントの3年ぶりの開催に対し、参加者や観覧者等の期待が大きかったことに加え、コロナ禍を踏まえ、開催規模の縮小や感染対策を徹底し開催したことにより、多くの観光客が盛岡を訪れることにつながったものと推察される。</p> <p>・発信するコンテンツの種類を増やし、利用者を飽きさせないための工夫をしたほか、継続的な発信に努めた。</p>	<p>☆1 ポストコロナを見据えた取組を推進するとともに、本市固有の観光資源を活かした誘客促進や通年型観光を推進する。</p> <p>☆2 まつり・イベント開催については、今年度の実施内容を検証し、次年度の開催につなげる。</p> <p>☆3 引き続き情報発信を行うほか、東京圏における盛岡関係コミュニティの活動を補助し、取組の活性化を図る。</p>
R6目標値	530			「指標の目指す方向」に向けた問題点	問題点の要因分析	
				<p>・コロナ禍が継続し収束の見通しも立たないことから、感染状況によっては、開催規模の縮小をせざるを得ない状況が今後も続き、指標の向上につながる取組が十分にできないことが懸念される。</p>	<p>・感染収束の時期が依然として見通せず、感染状況によっては移動の自粛傾向に左右される状況であることから、観光需要の回復時期も見通せない状況である。</p>	



指標② 中心市街地の通行量 当初値(H30) 13,094 R6目標値 17,500 目指す方向 ↗	単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点 ・商店街や事業者が、補助制度を活用し、新しい生活様式にあった営業活動やイベントの開催を促進した。	特に寄与している点の要因分析 ・新型コロナウイルス対応経済対策事業に関連した補助事業を実施したことにより、既存のイベントに加え新たなイベントが企画・開催されたことが、通行量が増加した要因の1つとして推察される。 ・SNSを中心とした情報発信や定期的なイベント開催により、拠点の認知を高めた。	☆1 商店街向けの補助事業を活用していない商店街があることから、制度設計の見直しを行う。 ☆2 集客効果の向上や、中心市街地の魅力発信につなげるために、盛岡バスセンターの開業を契機としたイベントやポストコロナに向けたイベントの実施などについて、各種研修会の実施支援などを通じて、既存のイベントの感染症対策の推進や、新たなイベントの立ち上げを促進する。 ☆3 映画の街盛岡の取組を推進することで、中心市街地への新たな人の創出を図る。 ☆4 市(いち)を起点した街なかの賑わい創出や、学生と商店街が連携したイベント開催等の支援を行う。 ☆5 新しい生活様式に対応したデジタル版の地域商品券を発行することで、地域経済の活性化に取り組むとともに、経済の地域内循環を促進するために、盛岡地域独自の電子決済ツールの浸透を図る。 ☆6 感染症拡大・長期化により売上が減少している飲食店や宿泊業の事業継続を支援するため、引き続き、自家発行型のプレミアム商品券の発行支援を行う。 ☆7 イベントなどで訪れた人の消費行動を活性化するための取組を検討する。 ☆8 「盛岡という星でBASE STATION」の認知度向上のため、通信の発行やイベントの開催を行うほか、高校生等の探究学習を支援し、高校や大学等への周知を図ることで利用者を増加させる。
	人回	◎	・市内中心部の百貨店内に関係人口交流拠点「盛岡という星でBASE STATION」を令和3年5月1日から開設し、1万人が来場した。	問題点の要因分析 ・感染症の感染拡大が収束せず、商店街や事業者において営業活動の自粛を余儀なくされた時期があったこと、また福島県沖地震に伴い新幹線が不通となり、県外・市外からの来訪者が減ったことなどが要因として推察される。	
20,000 15,000 10,000			「指標の目指す方向」に向けた問題点 ・中心市街地における通行量に回復が見られる一方で、目標値の達成に至っていない。		
指標③ 都市機能誘導区域*1等の流動人口*2 当初値(H30) 68,456 R3目標値 80,000 目指す方向 ↗	単位	進捗	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点 ・内丸地区は、官公庁施設のほか、文教施設や医療施設が集積し、昼間人口密度や従業員密度が高い地区であり、流動人口に大きく影響している。 ・まちなかウォーカー推進事業により、歩行者中心のまちづくりを進めている。	特に寄与している点の要因分析 ・多くの従業者が内丸地区外からアクセスしており、隣接する大通地区、菜園地区、河南地区において、消費、飲食、公共交通利用等の副次的な波及効果を創出している。 ・地域と連携しながら道路空間の利活用を図るなど、居心地がよく歩きたくなるまちなか形成を図ることで、人出の増に繋げている。	☆1 内丸地区の再整備の基本的な方向性(土地利用、交通、都市空間デザイン等)を検討し、具体的な事業手法等を盛り込んだ(仮称)内丸プランを取りまとめる。 ☆2 令和4年10月4日に開業する盛岡バスセンターは、交通拠点と賑わい拠点を合わせた施設であり、中心市街地へ訪れやすい環境を作るとともに、河南地区を中心とした中心市街地の賑わい創出につながる。 ☆3 中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業は、中心市街地にあり、土地の共同化、建物の集約化により都市機能の更新と土地の高度利用、防災性の向上を図るとともに、隣接する肴町商店街や盛岡バスセンターと連携した施設整備を行うことにより、日常利用から来訪者の利用まで、多様な世代の交流拠点として賑わいの創出を促進します。
	位	△	・内丸地区は、建物群の老朽化、官公庁の一部移転等により、中心市街地の吸引力等が低下している。 ・中心市街地のみならず、郊外の各拠点地域での流動人口の増加が望まれる。	問題点の要因分析 ・内丸地区の各施設の関係者間において、一体的な再整備に向けた協調的な地区再生の方向性を取りまとめる必要がある。 ・中心市街地、または開発の進む地域に流動人口が集中する傾向にあるので、郊外に波及効果を与える取り組みが必要である。	
85,000 80,000 75,000 70,000 65,000 60,000			「指標の目指す方向」に向けた問題点 ・内丸地区は、建物群の老朽化、官公庁の一部移転等により、中心市街地の吸引力等が低下している。 ・中心市街地のみならず、郊外の各拠点地域での流動人口の増加が望まれる。		
*1 都市機能誘導区域 盛岡市立地適正化計画で設定している、医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を維持・誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。 *2 流動人口 13時から14時において対象地点に滞留している人の推計値。地域経済分					

※進捗状況の評価(4段階) ☆:目標値に到達, ◎:目標値に向け順調に推移, ○:目標値に向け推移, △:遅れが生じている

事業種別	事業名	R4予算(千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
スポーツ推進	生誕スポーツ推進事業(競技大会等開催事業)	2,345	2 「日本スポーツマスターズ2022選手大会」において、数週間前からの選手へのお土産の配布を行う	1 「日本スポーツマスターズ2022選手大会」の開催が達成され、大会が盛り上がりのもと開催される	来賓者が盛岡に好印象を持ち、情報(魅力)発信する	スポーツに関連し、盛岡を訪れる人が増加する	交流人口が増加する
スポーツ推進	スポーツ大会・合宿誘致事業(合宿開催補助事業)	1,208	5 「合宿費補助金」を申請者に支出する	4 申請者が市内の民間宿泊施設を利用して合宿を行う	合宿相手との練習試合等を通じ、市内の競技力が向上する	3 競技力の向上により、本事業による合宿を希望する団体が増加する	
スポーツ推進	地域おこし協力隊活用事業(盛岡広域連携スポーツツーリズムの推進)	3,995	9 盛岡広域の魅力を国内外に発信するため、地域おこし協力隊を任用する	8 地域おこし協力隊員が、盛岡広域スポーツと連携しながら、盛岡広域の魅力を盛りだくさんを行い、HPやSNSを通じて国内外に発信する	7 HPやSNSにより、スポーツを通じて、盛岡広域に関心をもつ人が増える	6 合宿や大会の誘致が成功し、選手・関係者や観客が訪れる	
盛岡市公園整備	体育施設整備事業(盛岡市公園野球場整備事業)	3,527,174	13 「いわて盛岡パーク」を岩手県と共同整備する	12 特別目的会社「盛岡パークホールディング」として、プロ野球公式戦の誘致や大学サマーリーグ等の魅力あるイベントの開催を推進する	11 プロ野球公式戦や大学サマーリーグが開催される	10 盛岡で国内トップレベルの試合が開催される	
公園みどり課	盛岡地区かわまちづくり事業	1,000	20 「舟運実行委員会」に負担金を支出する	18 「舟運実行委員会」が試作舟による社会実験「フェスタ」を行う	17 社会実験「フェスタ」に市民が参加する	盛岡を愛する人が増える	
				19 「舟運実行委員会(協会)」において舟運導入に向けた具体的な検討が進む	舟運事業の実施に向けた機運が高まる		
食と農の連携推進	盛岡の食材プロモーション事業	3,451	29 盛岡市農業振興連絡協議会に負担金を支出し、もりおかの美味いももアンバサダー認定制度の運用、盛岡産農産物の情報発信を行う	28 盛岡産農産物を活用した特徴的なメニューが増加する	盛岡の「食と農」を応援するファンが増える	盛岡の「食と農」を応援するファンがSNS等で盛岡の「食と農」の情報を発信する	38 盛岡を訪れる観光客(観光客入込数)が増加する
					市内に魅力的な店舗が増える		中心市街地が活性化される
経済企画課	商業振興事務(プレミアム付商品券「スマートSANSAN」)	207,104	125 「盛岡Value(株)」に補助金を支出する	124 プレミアム付電子商品券「スマートSANSAN」が発売される	123 市民等がスマートSANSANを購入する		122 地域経済が活性化される
経済企画課	商業振興事務(プレミアム付商品券「モリオケツ」)	112,546	129 「盛岡商工会議所」に補助金を支出する	128 プレミアム付商品券「モリオケツ」を発行する飲食店やホテルに対して、支援金が支給される	127 飲食店等において「モリオケツ」が販売される	126 市民等が「モリオケツ」を購入する	
観光課	観光施設整備事業(観光客受入環境整備対策事業)	60,000	24 観光客の受入態勢の整備として、CityWi-Fi設置を委託する	22 委託を受けた事業者がCity Wi-Fiを設置する	22 City Wi-Fiを利用する観光客が増加する	観光客の満足度が向上する	
観光課	観光客誘致宣伝事業(東北六市連携事業)	5,000	27 東北六市連携事業負担金を支出する	25 6市が連携して首都圏等で盛岡のPRを行う	首都圏等で盛岡のPRを受け、外国人が、盛岡を訪れる	21 外国人観光客入込(宿泊客)数が増加する	
				26 6市が連携して海外で盛岡のPRを行う	海外で盛岡のPRを受けた外国人が、盛岡を訪れる		
観光課	観光客誘致宣伝事業(街なかさんさ発信事業)	1,810	30 街なかさんさ発信事業を委託する「盛岡観光コンベンション協会」に委託料を支出する	29 「盛岡観光コンベンション協会」が、市内商店街等に盛岡さんさのPRを推進する	28 観光客が連年、「盛岡さんさ祭り」に訪れる機会を創出することにより、盛岡市を訪れる観光客が増加する		
観光課	観光団体育成強化事業(盛岡伝統芸能常設公演事業)	3,880	33 「つなぎ温泉観光協会」に盛岡伝統芸能常設公演を実施する補助金を交付する	32 「つなぎ温泉観光協会」が、つなぎ温泉で、盛岡さんさのPRを中心とした市の伝統芸能を常設公演する	31 つなぎ温泉に宿泊する外国人観光客が増加する		
観光課	まつり・イベント振興事業(盛岡さんさ祭り)	18,075	45 「盛岡さんさ祭り実行委員会」に負担金を支出する	44 「盛岡さんさ祭り実行委員会」が盛岡さんさを開催する	43 盛岡さんさ祭りに参加する観光客が増える		
観光課	まつり・イベント振興事業(チャグチャグ馬コ保存会)	6,422	48 「チャグチャグ馬コ保存会」に負担金を支出する	47 「チャグチャグ馬コ保存会」がチャグチャグ馬コ保存会を開催する	46 チャグチャグ馬コ保存会を開催する観光客が増える		
観光課	まつり・イベント振興事業(盛岡秋まつり山車)	7,441	51 「盛岡山車推進会」及び「盛岡観光コンベンション協会」に山車製作及び大輪車パレード開催に係る補助金を支出する	50 市内各組及び盛岡観光コンベンション協会が山車を推進する	49 盛岡秋まつり山車を観覧する観光客が増える	38 盛岡を訪れる観光客(観光客入込数)が増加する(再掲)	
観光課	まつり・イベント振興事業(街なかさんさ発信事業)	50,000	54 「(仮称)もりおかの美味いももアンバサダー実行委員会」に負担金を支出する	53 中心市街地において、「(仮称)もりおかの美味いももアンバサダー実行委員会」がPR推進事業を実施する	52 冬季の中心市街地の賑わいの創出及び観光客誘致が図られる		
観光課	広域観光推進事業(盛岡・八幡平広域観光推進協議会)	3,181	57 「盛岡・八幡平広域観光推進協議会」に負担金を支出する	56 「盛岡・八幡平広域観光推進協議会」が観光客誘致事業を実施する	55 盛岡・八幡平広域に多くの観光客が訪れる		
観光課	MICE(マイス)誘致推進事業	18,250	73 「(公財)盛岡観光コンベンション協会」に補助金を支出する	72 「(公財)盛岡観光コンベンション協会」がMICE(マイス)助成の募集を行い、申請を受け付ける	71 MICE(マイス)開催者が、「(公財)盛岡観光コンベンション協会」からの助成を受けてMICEを開催する	70 MICE(マイス)に関連し、盛岡を訪れる人が増加する	
文化国際課	姉妹都市等国際交流事業	47,345	36 姉妹都市カナダ・ビクトリア市との姉妹都市交流を実施する	34 ビクトリア市との姉妹都市交流に市民が参加する	姉妹都市ビクトリア市との交流が盛んになり、市民の国際感覚やシビックプライドの醸成が図られる	国際交流活動を支える新たな担い手の育成や、交流の場の創出が促進され、外国人観光客の受入環境の整備につながる	
				35 友好都市台湾・花蓮市との友好都市交流を実施する	35 花蓮市との友好都市交流に市民が参加する	友好都市花蓮市との交流が盛んになり、市民の国際感覚やシビックプライドの醸成が図られる	
文化国際課	友好都市等交流事業(うるま市友好都市提携10周年記念事業)	12,196	盛岡市・うるま市友好都市提携10周年を記念し、両市の相互訪問及び各種交流事業を実施する	各種交流事業に市民が参加する	うるま市をはじめとする友好都市について市民の関心が深まり、交流事業の推進が図られる	民間レベルの新たな交流事業が生まれる	
文化国際課	芸術文化活動振興事業(盛岡文士劇東京公演開催事業)	5,000	76 「盛岡文士劇東京公演実行委員会」に負担金を支出する	75 「盛岡文士劇東京公演実行委員会」が、友好都市を提携した文京区で盛岡文士劇公演を開催する	74 盛岡文士劇公演に、多くの観光客が訪れることにより盛岡の歴史文化などの魅力発信につながる	盛岡を愛する人が増える(再掲)	
文化国際課	芸術文化活動振興事業(盛岡国際俳句大会)	5,600	59 「盛岡国際俳句大会実行委員会」に負担金を支出する	58 「盛岡国際俳句大会実行委員会」が盛岡国際俳句大会を開催する	58 盛岡国際俳句大会に、多くの参加者や観覧客が訪れることにより盛岡の魅力発信につながる		

事業種別	事業種別	事業名	R4予算(千円)	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果	
23	スポーツ推進	生涯スポーツ推進事業(競技大会等開催事業(いわて盛岡シマラン))	39,000	16「いわて盛岡シマラン実行委員会」に負担金を支出する	15「いわて盛岡シマラン実行委員会」が大会を開催する	14市民や全国からの参加者が「いわて盛岡シマラン」に出場する	スポーツに関連し、盛岡を訪れる人が増加する(再掲)	交流人口が増加する(再掲)	
24	都市戦略	移住・定住・交流人口対策事業(関係人口の創出・拡大等)	40,042	104 首都圏における盛岡コミュニティ育成・支援業務を委託する 105 関係人口交流拠点「盛岡という星でBASE STATION」を設置する 106 盛岡という星で軸とした情報発信を委託する 107 関係人口を可視化する仕組みの構築を委託する	101 首都圏において盛岡コミュニティ育成・支援が実施される 102 盛岡という星でBASE STATIONを運営する 103 盛岡という星で軸とした情報発信を行う 100 可視化された関係人口に情報が発信される	97 首都圏において盛岡コミュニティが拡大する 98 盛岡という星でBASE STATIONに利用者が訪れる 99 盛岡という星でSNSのフォローワーが増加する	移住・定住先としての盛岡の魅力や具体的な課題が認識される 盛岡を愛する人が増える 96 移住・定住先として、盛岡に興味を持ち、移住・定住に向けた具体的な検討を行う人が増える	95 移住者が増加する	
25	観光	観光客誘致宣伝事業(首都圏観光プロモーション事業)	13,770	63 首都圏観光プロモーション事業を委託する	62 首都圏において観光プロモーション事業を実施する	61 首都圏から盛岡への観光客が増加する	盛岡を訪れる観光客(観光客入込数)が増加する(再掲)		
26	観光	まつり・イベント振興事業(全国高校生短歌大会)	4,275	65「全国高校生短歌甲子園実行委員会」に負担金を支出する	65「全国高校生短歌甲子園実行委員会」が全国高校生短歌大会を開催する	64 全国高校生短歌大会に多くの参加者や観覧客が盛岡を訪れる			
27	文化国際	芸術文化活動振興事業(芸術・伝統文化体験事業)	678	112 (仮称)市民総合文化祭事業を実施する	111 (仮称)市民総合文化祭事業に芸術文化団体が参加する	110 市民が参加団体の芸術活動に触れる機会が生まれる		108 芸術文化活動に関心を持つ市民が増加する	108 芸術文化活動を通じた市内での人の交流が促進される
28	文化国際	芸術文化活動振興事業(芸術・伝統文化体験事業)	2,200	115 芸術・伝統文化体験事業を委託する	114 芸術・伝統文化活動振興事業を実施する	113 市民が芸術や伝統文化に触れる機会が増加する			
29	スポーツ推進	スポーツ活動機会提供事業(新生活様式における健康づくり及び経済振興支援事業)	10,023	121 アプリを制作する 120 インセンティブとして地域電子マネー(MORIO-PAY)を付与する	119 市民等がアプリをダウンロードする	118 多くのご当地域電子マネーが当たるため、意識的に多く利用される	117 地域電子マネー利用可能店舗の経済支援となる	116 地域経済が活性化し、市民が健康になる	
30	都市戦略	内丸地区再整備事業(仮称)内丸プラン作成業務)	20,000	77 内丸地区再整備基本計画案作成業務を委託する	76 内丸地区再整備基本計画案がまとまる	75 内丸地区の再整備の具体像が認識できる	中心市街地への魅力の期待が高まる		
31	経済企画	商店街等指導事業(商店街等魅力強化支援事業)	90	132 商店街が実施する研修に対する講師派遣に係る支援を行う	131 商店街の魅力向上に係る研修が実施される	130 研修を実施した商店街において、魅力向上に向けた取組が促進される			
32	経済企画	商店街活性化支援事業(「映画の街盛岡」推進事業)	1,200	135 映画の街盛岡推進事業実行委員会に負担金を支出する	134 映画館通りに対する受着の醸成などを目的としたイベントなどを企画・実施される	133 映画に関連したイベントに市民が参加する			
33	経済企画	商店街活性化支援事業(商店街活性化支援事業)	650	138 盛岡市商店街連合会に補助金を支出する	137 盛岡市商店街連合会から商店街に、街路を活用したイベント開催、ハンギングバスケットやベンチの設置などが行われる	136 商店街において、街路を活用したイベント開催、ハンギングバスケットやベンチの設置などが行われる	商店街の魅力が向上する	中心市街地が活性化(再掲)	
34	経済企画	商店街活性化支援事業(商店街情報発信事業)	300	141 盛岡市商店街連合会に補助金を支出する	140 盛岡市商店街連合会から商店街に、情報発信に係る経費に対する補助金が支出される	139 商店街等において、魅力向上に必要な表示のほか、お買い物マップの作成などが行われる			
35	経済企画	商店街活性化支援事業(商店街イベント事業)	2,185	144 盛岡市商店街連合会に補助金を支出する	143 盛岡市商店街連合会から商店街等に、商店街等が主体となった催事に係る経費に対する補助金が支出される	142 商店街等が主体となった催事が行われる			
36	道の駅整備	道の駅設置事業	405,460	道の駅を整備する 道の駅で観光情報発信の準備をする 道の駅にフューチャーセンターを整備する 69 高校生による特産品開発を行う 道の駅に産産・物産を設ける	道の駅が開業する 道の駅を訪れた人に向けて観光情報を発信する 道の駅の特産品・物産施設において、開発した特産品や地域の農産物を販売する	67 道の駅に、市民や市外・県外の人が訪れる 道の駅から地域に周遊する人が増える 68 道の駅を訪れた人が特産品や地域の農産物を購入する	盛岡を愛する人が増える(再掲) 道の駅で購入した人が盛岡の「食と農」の情報を発信する	盛岡を訪れる観光客(観光客入込数)が増加する	
37	公園みどり	お城を中心としたまちづくり事業(盛岡城跡公園芝生広場整備事業)	906	81 P-PFI事業者からの変更事業計画案等の協議を進めながら、芝生広場整備事業関係者懇話会等を開催する	80 事業への市民の理解が深まり、整備事業が実施される	79 市民・観光客が利便施設を利用する 78 芝生広場等を活用したイベントが開催される	P-PFI事業者による、公共空間を活用した取組が図られる		
38	まちなか未来創生	盛岡バスセンター整備事業	81,043	148 盛岡バスセンター整備を進めるため、盛岡ローカルハブへ負担金を支出する	147 盛岡ローカルハブ機能が、盛岡バスセンターの整備を進める	146 朝業に伴い、バスセンターの施設利用者が訪れる	145 交通拠点とにぎわい拠点が整備されることにより、河内地区のにぎわいが創出される	中心市街地の通行量が増加する	
39	まちなか未来創生	市街地再開発事業(中ノ橋通り一丁目地区)	1,144,868	152 中ノ橋通り一丁目地区市街地再開発組合に補助金を支出する	151 中ノ橋通り一丁目地区市街地再開発組合が、再開発ビル(商業業務施設等)の整備を	149 西街区(商業業務)の完成に伴い、来客者が訪れる 150 東街区(住宅)の完成に伴い、まちなか居住者が推進される			
40	公園みどり	動物公園整備事業	294,086	87 動物公園指定管理料を指定管理業者である(株)もりおかパークマネジメントに支出する 86 動物公園再生事業負担金を事業の代理人である(株)もりおかパークマネジメントに支出する	85 (株)もりおかパークマネジメントにおいて動物公園の管理運営が行われる 84 (株)もりおかパークマネジメントにおいて動物公園再生事業が実施される	83 公民連携により、市財政負担の軽減が図られるとともに、質の高い市民サービスの提供が可能となる 82 動物公園再生事業により、動物公園施設がリニューアルされ、動物公園の持つ魅力がさらに向上する	動物公園の集客力が向上することで、盛岡市内外からの来客者が増加する		
41	まちなか未来創生	まちなかウォークアール推進事業	0	155 コロナ禍や遠くから指定による道踏占	154 商店街などが、新たな制度を活用して道踏占用を行う	153 道踏占用を利用したウォークアールな取組が実施される	商店街などのにぎわいが創出される		
42	交通政策	公共交通利用促進対策事業(バスロケーションシステム更新整備事業)	18,982	91 (公社)岩手県バス協会に補助金を交付する	90 (公社)岩手県バス協会が、盛岡バスセンターや盛岡駅などの複数のバス事業者が乗り入れている交通結露点及び主要バス駅にデジタルサイネージ(表示装置)を設置する	89 (公社)岩手県バス協会が、デジタルサイネージ(表示装置)にリアルタイムな運行情報を多言語(日本語・英語)配信する	88 路線バスの利便性が向上し、市民や来訪者の利用が増加する		
43	交通政策	公共交通利用促進対策事業(交通系ICカード導入事業)	29,460	94 バス事業者に補助金を交付する	93 バス事業者が、交通系ICカードシステムを導入する	92 市民や来訪者が交通系ICカードを利用する			

(余白)

ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡を目指して
…進めています, 自治体経営



行政評価結果

問合先 盛岡市市長公室 企画調整課

〒 020-8530 盛岡市内丸 12 番2号

電話 019-613-8394(直通)

電子メール kikaku@city.morioka.iwate.jp
